

2024 ねん11がつごう (no. 265) \*\*やすとしょかん\*\*

ほんかん	10:00~18:00 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-586-0218 ファクス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (火ようび~日ようび)	でんわ・ファクス 077-589-3382
ホームページ	<a href="https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/">https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/</a>	



## こどもむけイベントのおしらせ

### ★おはなしの森

11月3日(日) 10時30分~

場所: おはなしコーナー

絵本やかみしばいをよみます(3歳~)

### ★ちっちゃなおはなしの森 in 中主

11月21日(木) 11時~

場所: 中主分館

赤ちゃんから楽しめるおはなし会です

## お休みのおしらせ

本館は、工事のため11月4日(月)

から29日(金)までお休みします。

また、12月から3月の間も暖房が入らない

ため、本館でのすべてのおはなし会をお

休みすることになりました。

再開するときはホームページや館内ポスター

でお知らせします。

## 11月のとしょかんカレンダー

※**■**の日は中主分館のお休み  
※**→**の日は本館のお休み

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 おはなしの森	<b>4</b>	<b>5</b>	6	7	8	9
10	<b>11</b>	12	13	14	15	16
17	<b>18</b>	19	20	21	22	23
24	<b>25</b>	26	27	28	29	30

※中主分館でのおはなし会は開催予定です。

## 『ミツツポアリをもとめて』

今森光彦/著 (偕成社) **K382**

ぼくは、ミツツポアリという昆虫の撮影をするために、オーストラリアの砂漠地帯にやってきました。数万年前からここで暮らしてきたアボリジニの人たちと、ミツツポアリを探す旅に出る。



## 『へんてこもりのころがりざか』

**K913/9カ**

たかどのほうこ/作・絵 (偕成社)

そらいろようちえんのなかよし四にんぐみは、「へんてこもり」へあそびにきました。すると、「だいじなおきやくさんがくるよ!」というこえがきこえてきて…。

★「へんてこもりのはなし」シリーズあります★



## あたらしくはいったほん

### 『めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン!』

多屋光孫/文・絵 (合同出版) **E/M**

すずきさんは、「めねぎのうえん」のしゃちょうです。あるひ、やまだせんせいが、しょうがいのあるふたりを、のうえんではたらかせてほしいとやってきました。



### 『ガラガラがらくた!?』

エミリー・グラヴェット/作 なかがわちひろ/訳 (BL出版) **E/カ**

カササギのふうふ、メグとアッシュユのすに、たまごがならびました。ふうふはひなのために、すにいろんなものをあつめはじめますが…。



★ほかにもあるよ! 「あたらしくはいったほん」のたなをみてみてね。よやくもできます

『おおきな きが ほしい』 E/材

さとうさとる/文 むらかみつとむ/絵(偕成社)

「ぼく、おおきな木がほしいなあ」かおるが考えているのは、とてもふとくて、たかいたかいすてきな木。はしごをかけてのぼって行って、木の上にいえをつかって、そこからまたはしごをかけて—。



『おねがいはウィッシュポーンで』 K933/キ

ディック・キング＝スミス/作 三村美智子/訳

(講談社)

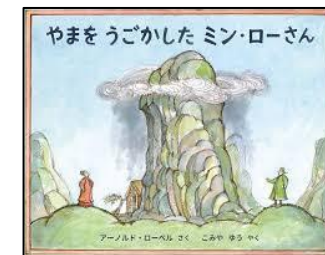
ある日ニックは、どんなねがいもかなえてくれる鳥の骨、ウィッシュポーンを手にいれます。ニックはだれにもわからないように次々とねがいごとをします…。



『やまをうごかしたミン・ローさん』 E/ヤマ

アーノルド・ローベル/作 こみやゆう/訳(好学社)

おおきな山のふもとにくらすミン・ローさんとおくさん。山から石がおちてきたり、いえがかげになったりするので、この山をうごかしたいと思い、村のけんじゃにそうだんに行きますが…。



『ちいさくなったパパ』 K949/スア

ウルフ・スタルク/作 菱木晃子/訳(小峰書店)

「どうしておとなは、遊べないの？」むすこのしつもんは、パパは考えた。そして、ながれぼしに願いをかけた。「私を子どものときのようにしてください」次の朝、ほんとうにむすこと同じ年ごろの男の子になったパパは…。



『人間になりたかった犬』 K913/イ

今西乃子/作(新日本出版社)

人間に生まれ変わりたい神社の飼い犬シロ。でも人間を救った犬しか生まれ変わることができないという。シロは、飼い主の宮司に男の子の姿に変えてもらい、人を助けるとはどういうことかを学ぶことになる。



『いつも みていた ゆめをかなえた女の子』

ジェーン・グドール』 K289(福音館書店)

ジャネット・ウィンター/作 まえざわあきえ/訳

いつかアフリカへ行ってサルたちとくらしたい。そのゆめをもちつづけたジェーンは大人になり、アフリカへ。だれも知らなかったチンパンジーのひみつをときあかした動物学者、ジェーンの伝記絵本。



『ツツカタップと三つのねがいごと』 K933/ロフ

エミリー・ロッダ/作 さくまゆみこ/訳(あすなろ書房)

ハツカネズミの古道具屋のツツカタップは、あるときへんでこなビンを見つけます。きれいにしようとふいていると、中からもくもくとでてきたのはビンの精霊。三つのねがいごとをきいてくれる、というのですが…。

\*シリーズもあります。



『シュヴァル 夢の宮殿をたてた郵便配達夫』 K289

岡谷公二/作(福音館書店)

フランスの小さなまちの郵便屋さんのシュヴァルにはゆめがありました。たったひとりで33年かけて自分の理想の宮殿をたてた人の、ほんとうにあったおはなし。今は、文化財となったこの宮殿を見るためにたくさんの人がやってきます。

